

こえる場！ニュースレターVol.7

令和3年5月発行

皆様ご無沙汰しておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため、「こえる場！」全体会の開催や具体的な取組について活動していくことができませんでしたが、その間、「こえる場！」参画企業・団体の皆様からのご支援や活動についてご紹介いたします。



株式会社フィッシングマックスさん

除菌消臭ウェットシートを寄贈いただき、ありがとうございました。
市内の特別養護老人ホームに配布させていただく等活用させていただきました。

社会福祉法人聖徳園さん

第7回「こえる場！」ご提案のおっちゃん向けの取組はストップしてしまいましたが、男性向けの取組として男性だけのトレーニング倶楽部「朝日ヶ丘おとこ倶楽部」を発足されました。現在は、運営を参加者に引継ぎ、住民主体で活動中です。

株式会社ポップ・アイディーさん

市主催の自転車交通安全教室を取材いただき、イヌメンZの自転車交通安全の記事に活用いただきました。
また、本市の就労準備支援事業（委託先：三田谷治療教育院）の就労体験先としてご協力いただきました。

生活協同組合コープこうべさん

社会福祉協議会さん、本市環境施設課と連携し、令和3年1月13日よりフードドライブを常設化しました。
コープ店舗に集まった食品を市が回収し、社会福祉協議会を通して、経済的に困り相談に来られた方や地域食堂等に届けられます。

コロナ禍で、これからもつながり続けるために、事務局アドバイザーの皆様（第7回ニュースレター参照）とオンラインで近況報告も交えて意見交換をしました。

そこで、これまでの「こえる場！」に加えて、オンラインの「こえる場！」（デジタル「こえる場！」）を作り、オフライン・オンラインの両方で色んなことに取り組むことや地域での様々な居場所での活動を少しずつでも繋げて情報発信していくことが必要ではないかと話し合いました。

今後の活動については、まずは、「こえる場！」参画企業・団体の皆様とオンライン等を活用してもう一度つながりあえる場を設けたいと考えております。

コロナ禍で、皆様の取り巻く状況も大きく変化していると思いますが、引き続きご協力をお願いいたします。



【こえる場！ロゴマーク】

形：芦屋のAと六甲山、笑顔の口やつながり、ひろがり連鎖する様子をイメージしています。
色：芦屋の海・山、芦屋愛、未来と多様な主体の参画をイメージしています。

《お問合せ》

芦屋市福祉部地域福祉課

TEL：0797-38-2040

FAX：0797-38-2060

Mail：chiikifukushi@city.ashiya.lg.jp